

# TIC NEWS

vol. **120**  
2016.7

(公財) とやま国際センター

〒930-0856 富山市牛島新町5-5

インテックビル4F (タワー111)

TEL (076) 444-2500

FAX (076) 444-2600

E-mail : tic@tic-toyama.or.jp

URL : <http://www.tic-toyama.or.jp>



ヘイスタックロックを遠くに眺めるオレゴン州自慢のキャンノンビーチ

## **祝** 富山県・オレゴン州友好提携25周年

今年富山県とオレゴン州が友好提携を結んで25周年になります。4月に富山県から友好訪問団の派遣を行い、また6月にはオレゴン州から訪問団が訪れました。

# イングリッシュ・チャット

日時：毎月第1、第3水曜日 19:00~20:30

会場：とやま国際センター 談話室

毎回20~30人が集まる人気のイングリッシュ・チャット。その時々異なるテーマについて自由に英語でおしゃべりする集まりです。

コーディネータの国際交流員アブラム・リオンさんの他に、県内在住の外国人住民も参加し、毎回盛り上がりを見せています。

今年になって取り上げたテーマは「気候変動・環境問題」、「迷信・伝説」、「起業精神・ビジネス」、「友達・知り合い」など幅広い分野に及びます。

英語を使って話すだけでなく、各国の人の様々な視点から物事をとらえることができるのも人気の秘密のようです。

7月のテーマは、6日「先輩後輩関係」、20日「別れ」の予定です。皆さんご参加ください！



## 国際交流員より離任のご挨拶！

### アブラム リオン さん (アメリカ)

私は、富山へ来る前に、大阪で3年ほど生活した経験がありました。その間は、英語を教えながら、一生懸命日本語を勉強し、大切なつながりも作り、ある程度日本のことを理解していたつもりでした。しかし、いざ帰国するときが来ると、日本の社会や文化、人々について、学ぶところはまだまだたくさんあると思いました。大阪から離れても、それまでの日本での生活は、きっと何かにつながると信じていました。

2年後、国際交流員として富山に来ると、自分に理想的な仕事が待っていました。勉強し続けてきた日本語を生かせる翻訳や通訳の業務に、能力不足で不安を感じながらも、喜んで取り組みました。富山県庁の国際課ととやま国際センターで、社会の様々な場面を経験することもでき、日々の挑戦にやり甲斐を感じました。

富山で2年を過ごす中で、富山の素晴らしい自然や美味しい食べ物、興味深い歴史・文化を十分楽しみましたが、その中でも人間関係が一番大切なものだと感じています。学校訪問先の子供たちやEnglish Chatに参加して下さった方々、音楽イベントや異文化教室で出会った人たち…。立山の姿がはっきり見える日には、富山の「広さ」を感じるように、富山で出会った人々の心の中にある「余裕」も感じます。心の中の余裕のおかげで、外から来た私に色々なことを優しく教えてくださり、仲良くしてくださいました。この2年間、たくさんの素晴らしい人とつながりができました。富山から離れても、このつながりを大切にしたいと思います。人生の次のステップへ進みますが、富山の皆さんと会う機会がまたあると思うので、これからもよろしくお願ひします。富山でお世話になった皆さん、ありがとうございました。心から感謝しております。



立山頂上にて

## 国際交流員より着任のご挨拶！

### きん じょうはん 金 滌凡 さん（中国）



富山県の皆様、こんにちは。中国遼寧省撫順市から参りました金滌凡と申します。瀋陽にある遼寧大学で日本語を専攻し四年間勉強しました。

大学卒業後、故郷である撫順市に戻り、撫順市外事弁公室で勤務し始め、アジア・アフリカ地域との国際友好交流と経済貿易協力を担当しておりました。また、この勤務の間に、早稲田大学での短期語学研修と在日中国大使館での勤務も経験しました。

富山県は初めてですが、遼寧省と富山県が友好省県を締結していることから、撫順にいた時も、富山について注目し続けておりました。このたび、国際交流員として富山県庁で一年間勤務する機会をいただき、本当に喜びの至りであります。これから、富山の四季の移り変わ

りを肌で感じながら、富山の皆様とたくさん交流し、遼寧省と富山県、ひいては中国と日本との友好交流の架け橋になることを目指し、全力で頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 吉村マルセロ知明 さん（ブラジル）

はじめまして、吉村マルセロ知明です。

「吉村知明」は日本人の名前ですが、こう見えてもブラジル人で、生まれも育ちもサンパウロ市です。ポルトガル語の名前は「Marcelo」(マルセロ) といいます。

両親が日本人なので「日系ブラジル人」二世です。富山県で国際交流員（CIR）として4月の中旬から仕事をさせていただいています。

日本へは何回か来たことがあり、平成25年に留学で、岐阜県に一年間暮らしたこともあります。富山は今回が初めてです。ブラジルで聞いていた通りの素敵なお仕事で仕事ができてうれしいです。

日本とブラジルでは12時間の時差があり、地球の反対に位置する距離で、大変離れています。実は日本国外で最も日本人（または日系人）が多い国はブラジルです（約150万人）。その理由は20世紀初期から始まったブラジルへの集団移民です。移民者の中には、一文無しで言葉も文化も異なる国に渡り、それでも成功を収めた方が多いため、昔から日系コミュニティは高く評価されています。そのため、ブラジルでも文化協会や都道府県人会などの日系団体が数多く存在し、常に日伯交流の事業が開催されています。

私も日伯交流に関心があり、元々は機械エンジニア（サンパウロ総合大学出身）ですが、留学時代に国際交流員の職について知り、帰国後CIRにチャレンジしようと考えました。専門とは異なる仕事内容ですが、日伯友好関係と富山県の国際化に貢献できればと思っています。今後ともよろしくお願い致します。



# ようこそオレゴンへ! =富山県・オレゴン友好提携25周年記念特集=

第20回富山カップ日本語スピーチコンテストの最優秀賞に輝いたミケラ・ダフィーさんより、富山県・オレゴン州友好提携25周年に際し、富山の皆さんにメッセージを頂きました。

この8月にスピーチコンテストの副賞として富山県に初めて来県することが決まっているミケラさん。富山県に来て富山についていろいろ学びたい、そして、オレゴンのことも皆さんに知ってもらいたいと話すミケラさんです。



オレゴンは西海岸に面し、カリフォルニア州の上、ワシントン州の下に位置します。オレゴンは森林、山々等、その美しい景観で知られ、自然も変化に富んでいます。州の3分の2を占める東部は高地の砂漠もしくは乾燥森林地帯になっており、州の3分の1を占める西部はより雨が多く森林も深くなっています。ほとんどのオレゴニアンは西部に住んでいて、最もよく知られている地域でもあります。西部には二つの山脈があり、海側のコースト山脈と、東部と西部を隔てるカスケード山脈があります。この両山脈の間にウィラメット峡谷があります。

オレゴンの大きな町は川沿いにあります。渓谷地帯は肥沃で、たくさんの農場、ワイナリーがあります。オレゴンは多くの農産物の主要生産州になっています。ブルーベリー、ボイズンベリー、ローガンベリー、ブラックベリー、スイートチェリー、梨、クランベリー、スイートコーン、ワイン用ブドウ、ホップ、サヤマメなどです。ヘイズルナッツはfilbertsとも呼ばれオレゴン州の生産は国内第1位になっています。その他の輸出品目では、木材と「クリスマスツリーの木の農場があり、輸出もしていますし、欲しい人は自分で切って持って行くこともできます。毎年私のクリスマスツリーの木を切りに行くことです。自分で木を切り、家に持ち帰りデコレーションするのは本当に楽しいことです。



コロンビア峡谷

オレゴンの州都はセイラムですが、一番大きい街はウィラメット峡谷の上にあるポートランドです。ポートランドは“Keep Portland Weird. ポートランドを風変りな街のままにしておこう!”という面白い街です。“ヒップスター”が多いことで知られています。ヒップスターとはビンテージ、ガニック料理を食べ、インディー・オータナティブミュージックを聞き、環境運動に敏感な若者達のことです。この人達が街を面白くしています。このヒップスター文化の中心地は地酒醸造所、独立系のコーヒー屋、地産地消やフェアトレードに力をいれているたくさんのお店があります。また屋台が多いことでも知られています。トラックが動くキッチンとトリートフードを楽しめます。

ポートランド以外にもオレゴンには有名で美しい所がたくさんあります。まず挙げなければならぬのは、オレゴンの最も偉大な象徴といえるでしょう。カスケード山脈にたたずみ、ポートランドや他の多くの場所からはっきりと見えます。その頂上には万年雪が積もり、冬にはスキーやスノーボードを楽しむ人で賑わいます。

もう一つの有名な場所はクレイターレイクです。湖は死火山であるマザマ山の頂上に位置します。雪や雨でいつも水に満たされた水は最も深い所で594mに達し、アメリカの記念硬貨である50州25セント硬貨のオレゴン州の柄はこのクレイターレイク国立公園に描かれています。

他にはコロンビア川に沿って走るコロンビア峡谷です。コロンビア川はカナダのプリティッシュ・コロンビア州を源泉としオレゴン州の国境の西側半分に沿って太平洋に流れ着き、全長は2000kmに及びます。深い渓谷では風が強くふくため、ウィンドサーフには滝もたくさんあり、全体落差が約190mにもなるマルトノマ滝は一番有名な滝です。峡谷の周りには町は大体小さいですが、フッドリバーと呼ばれる町はとて有名で、農場、果樹園、ワイナリーがたくさんあります。1900年代には日本人移民がこの場所に多数入植しましたが、それ以降多くの家族がここを去ってしまいました。しかし今でもヤスイ、キヨカワといった日系農園がオレゴンでは活躍しています。

オレゴンの見どころは海岸にもあります。580kmに及ぶ海岸線が観光客をひきつけています。といっても太陽がサンサンと輝く暖かいビーチではありませんし、いわゆる泳ぐ海ではありません。ほとんどの日は風が吹き、肌寒く、人々はパーカーをはおってサンダルを履いて歩きます。しかしオレゴンだけではなく、他の州からも多くの人美しい景観、新鮮な海の空気、小さなかわいい海辺の町、美味しい魚介類などを求めてここを訪れます。最も有名な町はキャノンビーチという北部の町で私のお気に入りの町でもあります。ここでは美味しいクラムチャウダーや海水タフィー（お菓子）を食べることができ、海上に山のように突き出ている大きな岩、ヘイスタックロックまでの散歩も楽しめますし、干潮時は潮溜りも見ることができます。

オレゴンは様々な景観が楽しめるところで、富山のように美しい場所がたくさんあります。富山の人々がもっとオレゴンの事を知り、そしてオレゴンの人々がもっと富山の事について知ることができるようになればと願っています。





「クリスマスの木」ですね。クリスマスのは、家族で

ポートランドです。ポートランドをモットーにして、オーガニックの服を着て、オーガニックなメインストリームの影響で、ポートランドの小さな店やレストラン、各国の美味しいス

れなければならないのがフットボールとその雄姿を見ること

られています。澄んだ青い公園のものです。

オレゴン州とワシントン州も盛んです。峡谷



マルトノマ滝

## 第20回富山カップ日本語スピーチコンテスト最優秀賞 “知らない人とポッキー” ミケーラ・ダフィーさん

私はリンフィールド大学でフランス語を専攻していて、日本語は私の副専攻です。先学期、横浜の関東学院大学で三ヶ月間留学していましたが、その間に秋休みが一週間あったので、他のリンフィールドの学生と一緒に京都に行くことになりました。一緒と言っても、切符を別々に買ったので、違う車両に座ることになってしまい、まるで新幹線に一人で乗っているようでした。でもそのおかげでいい経験ができました。今日はその日のことについてお話ししたいと思います。

新幹線に一人で座っていると、おとし、フランスに留学していたことを思い出しました。そのときも秋休みがあって、電車で一人旅をしていたのですが、隣に座った人とお菓子を食べながら、楽しく会話をすることができました。「日本でもやってみようかな」そう思った私は、旅行の前に買っておいたポッキーをかばんから出して、隣に座っていた女の人に、「すみません、ポッキー、食べませんか」と聞いてみました。

その女の人はちょっとびっくりしていたようでした。「どうしてこの白人が日本語を話しているのだろうか、どうして私にお菓子を食べろというのか」そんな顔をしていました。でも、彼女はしばらくして、「私チョコレートはあまり食べないんですけど、でも、いただきます」と言ってくれました。それから1、2分ぐらい話したのですが、彼女は話すのに興味がなかったようだったので、やめました。それからすぐ駅に着き、その女の人は「さようなら」と丁寧に言って新幹線を降りて行ってしまいました。そのとき、私のトレイテーブルの上のポッキーの箱の隣にチョコレートの箱が置いてあったのに気がつきました。いつ置いてくれたのかわかりませんでしたが、私はすごく嬉しくて感動しました。日本文化ではお返しは大切だと授業で習いましたが、実際にその女の人からお返しをもらって本当にうれしかったです。

しばらくすると、すぐ他の人が来て、私の隣に座りました。30代ぐらいの男の人でした。新幹線が駅を出るのを見ながら、「このひとにもポッキーをあげてみようかな」と思い、「ポッキー、どうぞ」と声をかけてみました。この人も、前の女の人とおなじようにびっくりしていましたが、ポッキーを受け取ってくれて、それから楽しく話すことができました。この男の人は一ヶ月間の出張から帰ってきたばかりで、よく海外出張に行くと言っていました。「まだ20か国ぐらいしか行ったことないんですけど」と言うので、私は「20か国？それは少なくないと思いますよ」と答え、いっしょに笑いました。それからポッキーを食べながら、どんな外国語が話せるか、次はどこに行ってみたいか、などについて、京都に着くまでずっと話していました。すごく楽しかったです。

よく私たちは、仕事や勉強やテクノロジーなどで忙しく、周りの人たちを忘れがちなものです。今では知らない人はもちろん、家族や友達とさえもゆっくり会って話す時間が少なくなりました。でも、時々私たちは、思いがけない、小さなことで、周りの知らない人にも、いろいろな人生があって、いろいろな話があることに気付き、その話を聞くことで、お互いの人生の小さな部分をシェアすることができることを、この新幹線の旅で再確認することができました。たった一本のポッキーだけで、知らない人に話しかけて、その人の面白い話が聞けて、私たちの違いにも関わらず、お互いに楽しい時間を過ごすことができ、お返しまでもらうことができました。小さなきっかけさえ作ることができれば、忙しい日常生活の中でも、新しい友達を作ったり、自分と他人の毎日の生活を楽しくしたりすることができる、そう感じた一日でした。

# 「JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2016」作品募集!



開発途上国の問題や国際協力について、考えていることをエッセイに書いてみませんか?

エッセイを書くことを通じ、世界に目を向け、さまざまな地球的規模の課題に関心を持ち、1人1人がそれらを自らの問題として捉え、国際社会の一員として行動できることに気付くことを期待しています。

2016年度は、中学の部の審査委員長に新たに尾木直樹先生(尾木ママ)をお迎えしました。たくさんのご応募お待ちしております!

◆過去の受賞作品は「JICA地球ひろば」ウェブサイトでもご覧になれます。

<http://www.jica.go.jp/hiroba/program/apply/essay/past.html>

◆上位入賞者には副賞として、開発途上国への海外研修が準備されています!

【対 象】 中学生・高校生 (2016年6月時点)

【テ マ】 「未来の地球のために - 私たち一人一人にできること -」

【募集期間】 2016年6月10日(金)~2016年9月12日(月)

【問い合わせ】 JICA北陸 開発教育支援担当 木水(きみず)

TEL:076-233-5931/FAX:076-233-5959 E-mail:Kimizu-Tsutayo.2@jica.go.jp

◆「エッセイコンテスト2015優秀作品集」をご希望の方はJICA北陸へお問い合わせください。



今回はタンザニア連合共和国から届いた青年海外協力隊員 黒川 和磨 さんからのお便りをご紹介します。

タンザニアの最大都市ダルエスサラームから北西に約1,000km離れた所に、私が住んでいる「ムワンザ」という町があります。ムワンザは、ダルエスサラームに次ぐ第二の都市とも言われています。町の中心部から車で30分程の距離のところにあるVETA (Vocational Education and Training Authority) という職業訓練校の自動車整備科が、私の配属です。

都市とは言えども、日本のように他人に対して無関心な様子はありません。どこへ行っても皆がとても友好的で、挨拶をととても大事にする文化だけに、私の顔を見ればいつも挨拶をしてくれます。最初は、全く知らない人が声を掛けてくることを警戒し、挨拶を強要されると感じることもあり、嫌な思いをすることもありました。しかし、こちらでの生活が長くなるにつれ、全く知らない人とも道端で立ち止まって長話をするようにもなり、タンザニアの文化に溶け込んでいるのかと感ずることもあります。

日本から遠く離れたアフリカの地では、最初は日本と全く異なる文化や考えを受け入れることができず、同僚や町の人に腹を立て、言い合いになることもありました。今でもしばしば腹を立てることはありますが、そんな時は思う存分意見を言って、次の日には何事もなかったように過ごします。そんな風にタンザニア流で対応することが、とても良い解決方法なのだと感じています。

ポレポレ(ゆっくりゆっくり)流れるタンザニアタイムの中、これからも出来るだけ人々に寄り添って生活し、ここに居ることで自分という存在が少しでも何か良い影響を与えることができればいいなと思います。



黒川 和磨さん

派遣国：タンザニア

職種：自動車整備

派遣期間：平成27年6月~平成29年6月

配属先：ムワンザ職業訓練センター

おう はい ゆ  
**王 佩瑜** さん

Q. この3月まで富山県国際交流員をされていた王さんですが、今はどんなお仕事をされていますか？

A. 富山から戻ってきて、遼寧省経済合作局の投資促進処に勤めることになりました。経済合作局は省の経済活動の窓口として機能しています。私の仕事は外資誘致、海外企業と国内企業の連携促進、国内企業の海外進出サポートです。日本関係はもちろん、他の国や地域とのやりとりも行っていきます。遼寧省は日本との経済活動は大変頻繁に行われ、そのお陰で、年に何回も日本に行く機会があると思います。仕事で日本にいる友達に会えることは仕事の疲れを補っても余る嬉しいことです。

Q. 近況について教えてください。

A. 太りましたね。かなり太りました。富山から帰ってきて、5キロも太りました。最近は大変忙しくて、週の半分は出張に行っています。ジョギングやトレーニングの時間が全然なかったですし、大好きなお酒はいつも通りに飲んでいきますから、結果的に、見事に脂肪をつけました。悲しいです。新たな職場に来たので、業務になれるまでの緊張感もあります。とにかく今の状況から脱出しないとイケない人生最大のピンチです（笑）。



丹東の金街を息子さんと闊歩する王さん

Q. 富山とはどんな結びつきがありますか？

A. 富山のことを思い出したら、郷愁を感じます。遠くにある立山のシルエット、毎日通っていた城址公園、朝4時まで営業していた近所の居酒屋、鍋の中で踊るホタルイカのしゃぶしゃぶ、馴染みにくいけど馴染んだらいい人ばかりの近所の人達、よくランチを食べていた食堂の座る席に厳しいおばちゃん、全ての全ては郷愁になっています。国際交流員として、一年間滞在した町は、一生の思い出にもなりました。

Q. 最後に富山の人に一言メッセージをお願いします。

A. 待ってくださいね、また行きますから。春に行ったら、アルペーンルートを見せてください！ 夏に行ったら、黒部峡谷の涼しい山風を浴びさせてください！ 秋に行ったら、紅葉を見ながらBBQをやりたいです！ 冬に行くなら、ブリと五箇山のライトアップが待ってくれますかね？ 贅沢なことを言っていますが、皆さんは是非遼寧省にも来てくださいね。富山と遼寧省は31年間の友好関係がありますから、遼寧省に富山に古い友人がいっぱいいます。ただいま、私は彼らを代表して富山の皆さんに一言言わせてもらいます「友よ、会いましょうよ！」

## 平成28年度草の根国際活動助成団体決定！

とやま国際センターでは県内で国際交流・協力活動及び多文化共生活動を実施する民間の非営利団体・グループに対し助成しています。平成28年度助成団体は以下の団体に決定しました。

団体名	事業名
富山ネパール文化交流協会	ネパール国立舞踊団富山公演事業
富山県日韓親善協会	江戸時代の朝鮮通信使、講演会、上映会
富山ルーマニア友好協会	モルドバ共和国との交流フェスタ
南砺ラオス会	ラオス教員との教育とスポーツ交流

## ต้มยำกุ้ง トムヤムクン

タイ料理のなかで最も有名なスープは”トムヤムクン”です。一度食べたら忘れられないです。このスープはエビやハーブを入れて作ります。辛味、酸味、甘味、塩味、旨味、これらの5つの要素が混ざりあってできるのがトムヤムクンです!



### ～作り方～

- 鍋に水を沸騰させ、レモングラス、パイマックル、ガランガルを入れてスキンスープも加える。
- ナム・プリック・パオ、ナンプラー、プリッキーヌ、ココナッツミルク、塩を加える。
- 味を整え、エビを加えます。エビに火が通ったら火を止める。
- ライムのしぼり汁やパクチーを入れていただく。



### ～材料～ (2人分)

- エビ…………… 400g
- ココナッツミルク …… 1カップ
- 水…………… 2カップ
- チキンスープ …… 2カップ
- レモングラス(茎) …… 2本
- パイマックル  
(ごぶみかんの葉) …… 3～4枚
- ガランガル…………… 1個
- プリッキーヌ(タイ唐辛子) …… 2本
- パクチー…………… 2株
- ライム汁…………… 大さじ1
- ナム・プリック・パオ …… 大さじ2
- ナンプラー…………… 大さじ1
- 塩…………… 少々

## TICからのお知らせ

### これからの行事予定

**国際交流ひろば** 14:00～16:00 環日本海交流会館  
国際交流員を講師に各国文化に理解を深める講座です!

- 6月25日(土)  
アメリカを聴こう!  
～音楽から見えるアメリカ～
- 8月20日(土)  
ロシアを体験する!  
～マトリョーシカとロシアンティー～
- 9月10日(土)  
ブラジルを理解しよう!  
～リオ・オリンピックから見るブラジル～

### 災害時外国人支援防災訓練事業

- (1)やさしい日本語ボランティア研修
  - 6月25日(土) 10:00～12:00  
氷見市いきいき元気館内 ワークルーム
  - 7月9日(土) 15:00～17:00  
砺波市文化会館
  - 7月24日(日) 10:00～12:00  
南砺市福光公民館
  - 8月6日(土) 10:00～12:00  
黒部市役所 交流棟202・203会議室
- (2)多言語ボランティア研修
  - 7月2日(土) 15:00～16:30  
砺波市文化会館研修室
- (3)広域連携による災害ボランティア研修
  - 7月31日(日) 石川県消防学校

この他、8月には富山県総合防災訓練(砺波市)において災害ボランティア活動訓練を実施します。

### 外国人のための日本語ボランティア養成講座!

- 【南砺会場】**  
7/3、7/31、8/7、8/21、9/4  
10:00～12:00 日曜日 全5回  
福野産業文化会館 (8/7は福光公民館)
- 【射水会場】**  
8/28、9/11、9/24、10/9、10/23  
10:00～12:00 日曜日 全5回  
大門総合会館  
(9/24のみ土曜日、場所は南太閤山コミュニティセンター)

### とやま国際塾

7月23日(土)～24日(日)  
(富山県呉羽青少年自然の家) \*高校生対象

### 日本海学講座

7月9日(土) 14:00～15:30 県民会館401号室  
“TPPと北東アジア”  
講師:(公財)環日本海経済研究所  
主任研究員 中島 朋義 氏  
9月10日(土) 14:00～15:30 県民会館611号室  
“沈み込むプレートと日本海の形成”  
講師:海洋研究開発機構  
主任研究員 大林 政行 氏

### 富山湾の魅力体験親子教室

8月6日(土)、8月7日(日) 富山湾  
小学生・中学生の親子20組

(公財)とやま国際センターは年4回「Tic News」を発行し、読者の皆さんに様々な情報を届けています。Tic Newsで取り上げてもらいたいテーマ、ご意見・ご要望があれば是非tic@tic-toyama.or.jpのほうへご意見お寄せ下さい。お待ちしております!